

[重要]「スペクターおよびメルトダウンのサイドチャネルの脆弱性に対する攻撃から SQL Server を保護する」にてマイクロソフトが公開した SQL Server パッチの適用について

2018 年 03 月 20 日

富士通株式会社

平素は、富士通製品をご愛用いただき誠にありがとうございます。

「スペクターおよびメルトダウンのサイドチャネルの脆弱性に対する攻撃から SQL Server を保護する」

にてマイクロソフトが公開した SQL Server パッチを適用後に、基幹 IA サーバ PRIMEQUEST の添付ソフト ServerView Operations Manager のサービスが停止している場合があります。

「スペクターおよびメルトダウンのサイドチャネルの脆弱性に対する攻撃から SQL Server を保護する」にてマイクロソフトが公開した SQL Server のパッチを適用される際は、事前に以下の詳細をご確認いただき、記載の手順にて適用していただけますようお願いいたします。

現象

「スペクターおよびメルトダウンのサイドチャネルの脆弱性に対する攻撃から SQL Server を保護する」にてマイクロソフトが公開した SQL Server のパッチを適用後、ServerView Operations Manager のサービスが停止します。サービスが停止する際に、エラーメッセージ等は表示されません。

「スペクターおよびメルトダウンのサイドチャネルの脆弱性に対する攻撃から SQL Server を保護する」の詳細は、以下のマイクロソフトのサイトでご確認ください。

<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/4073225/guidance-for-sql-server>

対象ソフトウェア・バージョン

- ServerView Operations Manager for Windows V4.91.09 以降のバージョン

発生条件

ServerView Operations Manager の上記対象バージョンであり且つ、これらが使用するデータベース(※1)として、「スペクターおよびメルトダウンのサイドチャネルの脆弱性に対する攻撃から SQL Server を保護する」にてマイクロソフトが公開した SQL Server のパッチ適用対象の SQL Server を使用している場合に発生します。

「スペクターおよびメルトダウンのサイドチャネルの脆弱性に対する攻撃から SQL Server を保護する」にてマイクロソフトが公開した SQL Server のパッチ適用対象の SQL Server は、以下のマイクロソフトのサイトでご確認ください。

<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/4073225/guidance-for-sql-server>

更新プログラムの適用対象の SQL Server を使用していない場合には、本事象は発生しません。

※1 ServerView Operations Manager が使用しているデータベースは以下の方法で確認することができます。

尚、今回対象となる SQL Server を同梱している ServerView Operations Manager のバージョンは、「(参考) ServerView Operations Manager がインストールするデータベース」の項を参照してください。

(1) メモ帳で、%WINDIR%\%ServerViewDB.ini を開きます。

(2) 「DbServerVersion」で始まる行を探します。

この行の「=」の右側の文字列が、使用しているデータベースのバージョンです。

例)

%WINDIR%\%ServerViewDB.ini の記載が以下のようにになっていた場合、使用しているデータベースのバージョンは SQL Server 2014 です。

```
DbServerVersion=Microsoft SQL Server 2014
```

(3) 「DbServerEdition」で始まる行を探します。

この行の「=」の右側の文字列が、使用しているデータベースのエディションです。

例)

%WINDIR%\%ServerViewDB.ini の記載が以下のようにになっていた場合、使用しているデータベースのエディションは Express Edition です。

```
DbServerEdition=Express Edition
```

回避方法

該当の更新プログラムを適用する際には、以下の手順で行ってください。

- **ServerView Operations Manager のバージョンが V4.92 以前の場合**
 - (1) [ファイル名を指定して実行] をクリックし、「services.msc」と入力して[OK] をクリックします。
 - (2) 以下の順で ServerView Operations Manager)のサービスを停止します。
 - 1) 「ServerView Download Service」(バージョンによっては存在しません)
 - 2) 「ServerView Services」
 - 3) 「Apache2_SV」 (インストール時の設定によって存在しない場合があります)
 - (3) 該当のマイクロソフトの更新プログラムを適用します。
 - (4) 以下の順で、ServerView Operations Manage のサービスを開始します。
 - 1) 「Apache2_SV」 (インストール時の設定によって存在しない場合があります)
 - 2) 「ServerView Services」
 - 3) 「ServerView Download Service」(バージョンによっては存在しません)
- **ServerView Operations Manager のバージョンが V7.02 以前の場合**
 - (1) [スタート] ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックし、「services.msc」と入力して [OK] をクリックします。
 - (2) 以下の順で ServerView Operations Manager のサービスを停止します。
 - 1) 「ServerView Download Service」
 - 2) 「ServerView Services」
 - 3) 「ServerView JBoss Application Server 5.1」または「ServerView JBoss Application Server 7」
 - (3) 該当のマイクロソフトの更新プログラムを適用します。
 - (4) 以下の順で、ServerView Operations Manager のサービスを開始します。
 - 1) 「ServerView JBoss Application Server 5.1」または「ServerView JBoss Application Server 7」
 - 2) 「ServerView Services」
 - 3) 「ServerView Download Service」
- **ServerView Operations Manager のバージョンが V7.10 以降の場合**

※ ServerView Operations Manager インストール時に「ディレクトリサーバの選択」画面において、「既存のディレクトリサービスを使用」、及び「既存のディレクトリサービスでの承認」を選択した

場合、「ServerView Apache Directory Server」は存在しません。

- (1) [スタート] ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックし、「services.msc」と入力して [OK] をクリックします。
- (2) 以下の順で ServerView Operations Manager のサービスを停止します。
 - 1) 「ServerView Download Service」
 - 2) 「ServerView Services」
 - 3) 「ServerView JBoss Application Server 7」または「ServerView ApplicationService」
 - 4) 「ServerView Apache Directory Server」
- (3) 該当のマイクロソフトの更新プログラムを適用します。
- (4) 以下の順で、ServerView Operations Manager のサービスを開始します。
 - 1) 「ServerView Apache Directory Server」
 - 2) 「ServerView JBoss Application Server 7」または「ServerView ApplicationService」
 - 3) 「ServerView Services」
 - 4) 「ServerView Download Service」

問題発生後の復旧方法

上記回避方法を行わずに、該当の更新プログラムを実行した場合、以下を行ってください。

- **ServerView Operations Manager のバージョンが V4.92 以前の場合**
 - (1) [ファイル名を指定して実行] をクリックし、「services.msc」と入力して[OK] をクリックします。
 - (2) 以下の順で ServerView Operations Manager)のサービスを停止します。
 - 1) 「ServerView Download Service」(バージョンによっては存在しません)
 - 2) 「ServerView Services」
 - 3) 「Apache2_SV」(インストール時の設定によって存在しない場合があります)
 - (3) 該当のマイクロソフトの更新プログラムを適用します。
 - (4) 以下の順で、ServerView Operations Manage のサービスを開始します。
 - 1) 「Apache2_SV」(インストール時の設定によって存在しない場合があります)
 - 2) 「ServerView Services」
 - 3) 「ServerView Download Service」(バージョンによっては存在しません)
- **ServerView Operations Manager のバージョンが V7.02 以前の場合**

- (1) [スタート] ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックし、「services.msc」と入力して [OK] をクリックします。
- (2) 以下の 1)~3)のサービスのうちいずれか 1 つでも停止していた場合、1)~3)の順に停止します。既に停止されているサービスは、そのまま停止しておきます。
以下のサービスのうち、存在するものがすべて開始されていた場合は、対処の必要はありません。
 - 1) 「ServerView Download Service」
 - 2) 「ServerView Services」
 - 3) 「ServerView JBoss Application Server 5.1」または「ServerView JBoss Application Server 7」
- (3) 以下の順で、サービスを開始します。
 - 1) 「ServerView JBoss Application Server 5.1」または「ServerView JBoss Application Server 7」
 - 2) 「ServerView Services」
 - 3) 「ServerView Download Service」

▪ **ServerView Operations Manager のバージョンが V7.10 以降の場合**

※ ServerView Operations Manager インストール時に「ディレクトリサーバの選択」画面において、「既存のディレクトリサービスを使用」、及び「既存のディレクトリサービスでの承認」を選択した場合、「ServerView Apache Directory Server」は存在しません。

- (1) [スタート] ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックし、「services.msc」と入力して [OK] をクリックします。
- (2) 以下の 1)~3)のサービスのうちいずれか 1 つでも停止していた場合、1)~4)の順に停止します。既に停止されているサービスは、そのまま停止しておきます。
以下のサービスのうち、存在するものがすべて開始されていた場合は、対処の必要はありません。
 - 1) 「ServerView Download Service」
 - 2) 「ServerView Services」
 - 3) 「ServerView JBoss Application Server 7」または「ServerView ApplicationService」
 - 4) 「ServerView Apache Directory Server」
- (3) 以下の順で、サービスを開始します。
 - 1) 「ServerView Apache Directory Server」
 - 2) 「ServerView JBoss Application Server 7」または「ServerView ApplicationService」
 - 3) 「ServerView Services」
 - 4) 「ServerView Download Service」

その他

同梱の SQL Server を使用せずに、お客様で用意された SQL Server を使用している場合も対象となります。

